

草深たまご通信



社会福祉法人印旛福祉会

いんば学舎・草深 にわとり農場班

〒270-1337 千葉県印西市草深字怖録 484-3

TEL. 0476-48-6411 FAX. 0476-48-6400

<http://inba-g.or.jp/shisetsu02.html>

第11号 2020年5月13日発行

草深キャラクター「そうし君」

草深の卵をご利用いただきましてありがとうございます。

外出や活動の自粛などによって厳しい生活を強い

られている方や、日夜みんなの命と生活を守るために働いていらっしゃる皆さん、学舎を支援していただいているすべての皆さんに、心からのエールを送ります。

■ 検査その 1) 水質検査を行いました



2月に、鶏舎で鶏に与えている井戸水について、検査機関に依頼して水質検査を行いました。亜硝酸態窒素、大腸菌、鉛、pH値など16項目のすべてにおいて異常がなく、「水道法水質基準等に適合」との判定を得ました。この井戸水は、洗卵やにわとり農場の畑にも使用しています。



■ 検査その 2) 鳥インフルエンザ



同じ2月に、千葉県北部家畜保健衛生所の職員による「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザモニタリング検査」が農場にて行われました。これは、毎年この時期に、鶏舎から無作為に10羽を選び、血清抗体検査を行うものです。結果は「全例陰性」。鳥インフルエンザにかかっていませんでした。鶏舎では、鶏舎の入口や周囲への消石灰散布や、ネットや壁の点検・修繕、鶏舎周りの除草など、鳥インフルエンザ対策を行っています。

● 産卵数が順調に推移しています。

5月11日現在の飼養羽数は253羽です。4月1か月間の産卵数は5605個で、1日平均186.8個産んでいます。産卵率は70%を超えました。

最近の傾向では、冬から春にかけて産卵率が高く、暑い時期に落ち込みます。昨年は5月が最も多く産みましたが、1日平均では120個でした。今年は1月に120個/日を超えてから毎月産卵数が増えており、3月、4月の2カ月連続で180個/日を超えました。多い日は220個ほど産む日もあります。現在は販売しきれないほどになっています。是非ご利用をお願いします。



にわとり農場では、畑に鶏の餌にもなる野菜を年間を通じて栽培するように努めています。冬から春にかけては菜の花を栽培しました。菜の花は鶏が好んで食べます。



現在はスナップエンドウ、グリーンピース、チンゲン菜、モロヘイヤ、にんにくなど、人にも鶏にも美味しい野菜を育てています。

日当たりのよくない畑に、ミツバやみょうがを植えて挑戦しています。